

目次

最新情報.....	1
取扱説明書追補.....	1
新機能.....	2
V1.20の追加	2
V1.10の追加	2
メンテナンス項目.....	3
V1.12の修正	3
V1.11の修正	3
V1.10の修正	3
ファームウェアバージョンの確認.....	4
ファームウェアアップデート手順.....	4

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト（<http://www.tascam.jp/>）にてご確認ください。

取扱説明書追補

- 同一フォルダ内のファイル数が多くなると、録音開始時に時間がかかり、頭が欠けることがあります。これを回避するには、同一フォルダ内のテイク数はできるだけ少なくするか、録音待機状態を経由して録音してください。また、同一フォルダ内のファイル数が多い際のトラックインクリメント時にもこの現象が起こる場合があります。
（トラックインクリメントは、録音中に**REC**キーを押したとき、および最大ファイルサイズを超えた場合に自動で起こります。詳細は、取扱説明書の36ページ「トラックインクリメント」の項を参照してください。）

メモ

- トラックインクリメントを使用する、または使用が予想される場合には、同一フォルダ内のテイク数はできるだけ少なくしてください。
- 同一フォルダ内の最大テイク数の目安は100程度です。
- パソコン上でMUSICフォルダの直下に作成したフォルダ名は、16文字以上でも動作に問題はありませんが、15文字を超える部分は表示できません。15文字までが表示されます。

- 「カスケード接続について」の「カスケード接続時の注意」の訂正に関して

本機でのカスケード接続では、同時にトランスポートコントロールのみを行うもので、ワードクロックでの同期は行っていません。したがって、マスター機とスレーブ機とでクロックの同期がとれず、録音した音にずれが発生する場合があります。ただし、次のいずれかを設定することによりマスター機とスレーブ機での同期ズレを改善することができます。

- スレーブ機で **"I/O"** メニューの **"INPUT SEL"** 項目でトラック5 / 6を **"DIGITAL"** に設定する。（この場合、スレーブ機でのトラック5 / 6は、マスター機のMIXが入力されます）
- スレーブ機で **"REC"** メニューの **"ST REC"** 項目を **"DIN"** に設定する。（この場合、スレーブ機でのStereo Mixの録音はできません）

なお、「カスケード操作の準備」の中で、**"I/O"** メニューの **"INPUT SEL"** 項目で **"ANALOG"** の設定は誤りで、必ずしも **"ANALOG"** に設定する必要はありません。

新機能

V1.20 の追加

- MSマイク接続モード機能の追加
- GANG機能の追加

メモ

詳しくは、DR-680取扱説明書・追補を参照ください。

V1.10 の追加

MP3 録音および再生機能

- MP3形式の録音及び再生に対応しました。
MP3形式で使用できるトラック数は、最大4トラックです。

操作仕様の変更

操作性を向上させるため、操作仕様を一部変更しました。

- 停止または再生中でも各トラックのレコードファンクションのオン／オフ状態を表示するようにしました。

注意

停止または再生中には、ホーム画面で **1 ～ 6** キーを使ってレコードファンクションを変更することができません。次項目の“MENU”画面からの操作で変更してください。

- “MENU”画面からレコードファンクションを変更できるようにしました。
- ステレオトラックの録音ソースをデジタル入力（“REC”画面の“ST REC”項目を“DIN”に設定）にし、録音または録音待機にした状態で、**MIX [LOCK]**キーを長押ししたときの動作を、他の状態での動作と同じロック機能のオン／オフに変更しました。
変更前の機能は、次項目のファンクション画面での操作で行うことができます。
- ステレオトラックの録音ソースがデジタル入力に設定（“REC”画面の“ST REC”項目を“DIN”に設定）されているときに、デジタル入力をモニターするか（“DIN MON”）、ステレオミックスをモニターするか（“MIX MON”）をファンクション画面で切り換えできるようにしました。

メモ

ステレオトラックの録音ソースがステレオミックスに設定（“REC”画面の“ST REC”項目を“MIX”に設定）されている場合には、常に“MIX MON”に設定され、変更することはできません。
ステレオトラックの録音ソースがデジタル入力に設定（“REC”画面の“ST REC”項目を“DIN”に設定）されている場合のみ操作が可能です。

- レコードファンクションの設定を、シャットダウン処理時に記憶するようにしました。

- 録音または録音待機中でも、フロントパネルの**HOME/FUNC**キーを押すことによってファンクション画面を開けるように変更しました。ただし、録音中または録音待機中に変更できるのは“REPEAT”項目のみです。

- フロントパネルの**HOME/FUNC**キーを長押しすることにより“MENU”画面を表示できるように変更しました。
これまでトップパネルの**MENU**キーと同じ動作が、フロントパネルの**HOME/FUNC**キーの長押しでできるようになりました。

- “MENU”画面でフロントパネルの**VALUE**ダイヤルを使って項目を選択（反転表示を移動）できるように変更しました。
これまでトップパネルの**DATA**ダイヤルで行っていたことが、フロントパネルの**VALUE**ダイヤルでもできるようになりました。

- “MENU”画面でフロントパネルの**VALUE**ダイヤルを押すことにより、選択を確定したり、階層を進んだり、確認のポップアップメッセージやメニュー画面に対して「YES」と答えるなどの操作ができるように変更しました。
これまでトップパネルの**ENTER**キーで行っていたことが、フロントパネルの**VALUE**ダイヤルを押すことでもできるようになりました。

メモ

上記フロントパネルの**HOME/FUNC**キーの長押しと、**VALUE**ダイヤルを使うことで、フロントパネル内のみで“MENU”画面内の操作ができるようになりました。

- ステレオトラック再生時、これまでは**LINE OUT**端子**1 / 2**からしか出力していませんでしたが、これに加えて**3 / 4**および**5 / 6**からも出力するようにしました。

- テイク名に追加する連番が999まで達した場合は、000から空いている番号を検索して付加するようにしました。

- バッテリ監視の方法を変更し、誤動作を起こす可能性のあるレベル（アナログ回路の電源が落ちるレベル等）に一瞬でも下がったときには、即座にシャットダウン処理を行うようにしました。

メンテナンス項目

V1.12 の修正

- MP3形式での録音／停止または録音／一時停止を行うと、まれにハングアップする不具合を修正しました。

V1.11 の修正

- 入力レベルによってリミッター機能が正常に動作しない不具合を修正しました。

V1.10 の修正

- 現在ロードしているテイクを削除後、ファイルが一個も含まれないテイクがカレントになる場合 **"File Error"** を表示していた不具合を修正しました。
- パソコンとUSB接続中には**STAND BY/ON**キーの操作をしても、電源がスタンバイ状態に切り換わらないように修正しました。
- 再生中に手前のマーク位置へ移動 (**MARK**キーを押しながらトップパネルの **◀◀ [H◀◀]** キーを押す) したときに、ほぼ現在のマークの先頭位置にしか移動できませんでしたが、前のマークに移動できるように修正しました。
- ロック機能範囲を **"FRONT"** に設定し、ロック機能をオン状態のとき、フロントパネルの**MARK**キーとトップパネルの**▶▶ [▶▶]** キーの操作ができなくなる不具合を修正しました。
- マークジャンプや**DATA**ダイヤルでのジャンプを繰り返すと、再生中にもかかわらずカウンタが止まる不具合を修正しました。
- ロック機能範囲を **"TOP"** に設定し、ロック機能をオン状態のとき、録音中にトップパネルのキーに触れて **"UNLOCK"** のポップアップメッセージが表示されると、そのポップアップメッセージが解除できずに操作不能になる不具合を修正しました。トップパネルの**ENTER**キーまたはフロントパネルの**VALUE**ダイヤルを押すことでポップアップメッセージを解除できます。
- **"REC"** 画面の **"ST REC"** 項目を **"DIN"** に設定し、**"I/O"** 画面の **"A.OUT SEL"** 項目を **"MIX"** に設定した場合に、ステレオミックスをモニターができなかった不具合を修正しました。
- プリレック開始部分が2秒を超えた場合に、フェイドイン処理（録音開始時の立ち上がりをなまらせノイズの発生を抑える処理）が入らないことがある不具合を修正しました。
- カレントフォルダ以外のフォルダで **"REBUILD"** を実行したときに、**"BROWSE"** 画面でテイクが表示されなくなる不具合を修正しました。
- **"BROWSE"** 画面でテイクの削除を行うと、**"BROWSE"** 画面でテイクが表示されなくなることがある不具合を修正しました。
- 起動中にUSBが接続された場合、これまでは通常起動していましたが、起動直後にUSBモードになるように修正しました。
- 再生中に次のテイクに移った場合に、これまではマークの追加・削除をファイルに反映させていませんでしたが、スキップ以外の方法で移った場合には反映させるようにしました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのDR-680のファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. MENUキーを押して、MENU画面を表示します。
3. トップパネルのDATAホイールを使って“SYSTEM”メニュー項目を選択（反転表示）し、トップパネルのENTERキーを押して“SYSTEM”画面を表示します。

4. DATAホイールを使って“INFORMATION”項目を選択（反転表示）し、ENTERキーを押します。“Exec”が選択されますのでもう一度ENTERキーを押します。
5. ポップアップ表示された“SYSTEM Info”で“Version”を確認してください。
ここで表示されるバージョンが、これからアップデートしようとしているバージョンと同じ、または新しい場合は、アップデートの必要はありません。

ファームウェアアップデート手順

注意

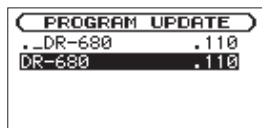
ファームウェアアップデートは、付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）を使用したうえで行ってください。単3形電池では、アップデートは行えない仕様となっています。

1. TASCAMのウェブサイト（<http://www.tascam.jp/>）より最新のファームウェアをダウンロードします。
2. 本体の電源を入れて、付属のUSBケーブルでパソコンに接続します。本機が外部ドライブ（外部記憶装置）としてパソコンに認識されます。
3. ダウンロードしたファームウェアをDR-680内にある“UTILITY”フォルダーにコピーします。
4. コピーが終わったら、パソコンから本機を正しい手順で切り離れた後、USBケーブルを外します。すると、自動的に再起動しますので、再起動後に電源を切ります。
5. MENUキーとPLAY/PAUSEキーを押しながら本体の電源を入れます。本体がアップデート・モードで起動し、画面にアップデート用ファイルが表示されます。



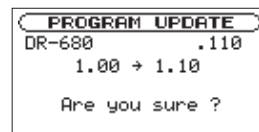
注意

- この画面が表示されない時は、一旦電源を切って、MENUキーとPLAY/PAUSEキーを押しながら再度電源を入れてください。MENUキーとPLAY/PAUSEキーはこの画面が表示されるまでしっかり押し続けてください。
- Macから本機のUTILITYフォルダーにファームウェアをコピーした場合、ファームウェアのほかにファームウェアの名前の先頭に“.”がついたファイルが表示されることがあります。先頭に“.”のついていないファイルを選択してください。



メモ

- この画面には本機のUTILITYフォルダー内にあるファームウェアアップデート用のファイルがリスト表示されます。上記の3.でコピーされたファームウェアも表示されます。アップデート用のファイルが無い場合は“**No Update File**”と表示されます。
 - 画面は一例で、実際の表示とは異なります。
6. ファームウェアを選択して（反転表示させて）ENTERキーを押してください。以下の画面が表示されます。



左側に現在のバージョン、右側にアップデートするバージョンナンバーが表示されます。

メモ

画面は表示例で、実際の表示とは異なります。

7. ENTERキーを押すとアップデートを開始します。
8. アップデートが終了すると自動的に電源が切れますので、再度電源を入れてください。
9. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して“Version”が最新のファームウェアとなっていることを確認してください。以上で本機のアップデート作業は終了です。
10. USBでパソコンと接続して本機の“UTILITY”フォルダー内にあるファームウェアアップデート用ファイルを削除してください。